



平出保育園、東部保育園統合の進め方について

資料 2

1. これまでの経過について

老朽化が進む平出保育園の今後の方向性については、2021年に策定した「保育園個別施設計画」におきまして、「辰野東小学校への併設」または「東部保育園との統合」の2案を示し、これまで地元平出区や保護者等関係者の皆さまと検討を進めてまいりました。

保育園個別施設計画策定以降、国ではこども家庭庁の創設など、コロナ禍の影響等で予想以上に進む少子化のなか、こども・子育てを取り巻く情勢は大きく変化しております。

辰野町の今後の人口推計（社人研推計）によれば、2023年に17,820人の人口は、2035年に14,828人、2050年に至っては11,518人と、大幅な減少が推計されています。町の出生数は年間100人を割り2021年は75人にまで落ち込みました。

令和6年度、町内保育園へ入園している年長児は96人、年中児103人、年少児73人です。

今年度の平出保育園の園児数は32人で、前年度から9人減少しています。また、東部保育園へ通う平出区在住の子どもも32人です。平出区の半数の方が東部保育園を選択しており、東部保育園の全園児数の37%が平出から通っています。

保育園個別施設計画では、再整備手法の比較検討を行った結果、「東小学校への併設」または「東部保育園との統合」の2案に絞り、検討を進めてきました。「東小学校への併設」につきましてはスペースが不足する問題から設備などが十分に備えられない状況であること、保育士からは保育の難しさや負担が増すこと、教員からは学校の活動に制限がかかることなど様々な制約があることを心配する声が多かったことに加え、需要が高い未満児保育の受入れも困難であることから理解が得られなかった経過があります。

以上のことから、町では今年2月の子ども・子育て会議の中で町の方向性について「東部保育園との統合」として今後この方向で協議していく方針を示しました。これを受け、6月に平出保育園あり方検討委員会から、「平出保育園の存続」の実現は難しいと判断せざるを得ない状況となったこと、平出区からは委員会の検討結果を受け、さらに今置かれている現状を勘案し、区としては町の「平出保育園の東部保育園への統合」の方針に沿う結論に至り、「平出保育園あり方検討委員会」を解散したことについて報告がありました。

2. 今後の進め方について

平出保育園の東部保育園と統合の時期につきましては、子ども・子育て会議や保護者との協議のなかで意見を伺いながら検討を進めて参ります。

平出保育園に係わる保護者に対しましては不安の解消に努めていくとともに、東部保育園につきましても園児受入れのために必要な整備を進めていきたいと考えています。

3. 閉園、東部保育園との統合に向けて配慮事項

平出保育園は東小学校の学区内の東部保育園と統合しますが、保護者は町内の保育園を自由に選択することが可能です。自宅から保育園までの距離が2 km以上になる場合、園児バスに乘車することが可能です。

東部保育園では園児の増加により、駐車場が若干手狭になると考えられますが、統合までの間に駐車場や園庭の整備を行っていきます。

4. 平出保育園閉園後の対応

跡地利用については、平出区の皆さんと検討していきます。

現在の場所での平出保育園は閉園としますが、町全体の状況や小中学校のあり方を検討する中で、保育園の配置も計画していく予定です。

「保育園個別施設計画」を基本に、引き続き、地元関係者の皆さまや子ども・子育て会議に出席している皆さんのご意見を伺いながら今後の方向性を見出していきたいと考えています。

平出保育園、東部保育園と統合スケジュール（案）

